

第 9 回 国際土木委員会 議 事 概 要

1. 開催日時 : 2021 年 5 月 20 日 (木) 13 : 10~13 : 40

2. 場 所 : JACIC 第 1 会議室 (Web 会議形式)

3. 議事概要

(1) 委員長挨拶

(2) 第 8 回議事概要

(3) 2021 年度実施計画

今年度の実施計画は下記のとおり。

①国際土木委員会の開催

②bSI 国際会議への参加

③道路小委員会の継続および他分野の小委員会設置を検討

④bSI から送られてくる情報の共有

(4) バーチャルサミットの報告について

IFC Tunnel はフェーズ2の段階であり、ISO16739 のプロセスに含まれるかは未定。

コモンスキーマ、線形、橋梁、道路、港湾および水路、鉄道の6つのプロジェクトはステップ4が完了。

IFC Port & Waterways は、プロジェクトの総括と成果物の公開と併せてプロジェクトの次期の計画と対象範囲が説明された。

(5) 道路小委員会の活動報告

道路小委員会の活動は、bSI の IFC Road プロジェクトと連動することとしている。

ステップ4の段階を終えたが、それ以降プロジェクトチームの動きがない状況である。

(6) その他

<意見・質疑応答等>

各ルームの動向について

Tunnel であれば、ドイツのアンдре・ボーマンという、ミュンヘン工科大学の教授が中心になっている。Port & Waterways ですとイギリスのカーディフ大学の中国人の先生が中心となっている。Bridge はフランスが中心で、Road は韓国の KICT の研究者が中心となってやっている。

鉄道ルームは中国が先行した標準で立ち上がったプロジェクトだが、中国が全部取り仕切っているという訳ではなく、欧州の鉄道事業者の力は強いという印象である。

アセットマネジメントに関する動向について

アセットマネジメントにおいて BIM の国際標準との連携という話が出ている。

各プロジェクトに関してもアセットマネジメントがターゲットに含まれており、今後 IFC4.3 を拡張する等の段階で含まれる見込みである。